

事務事業調査

平成26年度

事業No	452	課	ごみ減量推進室	係	ごみ減量係	起案者	小島政道
						決裁者	沓名勉
事務事業名	環境保全協働推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 1 協働による環境づくり 1 協働する体制づくり 1 各主体間の協働関係の強化			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		20-10-5			
				総合計画以外の計画		安城市一般廃棄物処理基本計画			
				関連する総合計画の施策		1-1-1-1-1			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	H22. 6議会一般質問ほか							
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成08年度		経過	18年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		多くの市民が			~になる		ごみ減量に関心を持ちごみ減量を協働で行えるようになる。	
事務事業の内容	市民、事業者、行政との協働によるごみ減量、資源循環型社会形成の推進を図るため、ごみ減量推進委員会（旧廃棄物対策推進委員会）を開催し、ごみ減量施策の調査・検討・構築を行うとともに、市民活動を促進するため市民活動支援プログラムの運用、相談窓口の開設、説明会等による啓発活動を実施します。								
改善・対策の履歴	【H24年度】ごみ減量推進委員会の委員選出に際し推薦団体の見直しを行い、廃棄物運搬処理事業者の代表者を加えました。市民公募委員を3名としました。 【H23年度から】ごみ減量啓発リーフレットの作成を市民目線で親しみやすいものとするため、市民団体であるNPO法人に委託し全戸配布しました。 【H24年度】町内会等を主体とする市民団体「ごみ30%減らし隊」が年度末に結成されました。 【H25年度】自発的な減量活動を広げるため市民団体等による「ごみ30%減らし隊」との協働や支援を実施しました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,024	6,902	7,186	6,569	3,864
財源計	1,945	5,075	5,233	4,616	2,289
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	1,945	5,075	5,233	4,616
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	2,079 (0.33)	1,827 (0.29)	1,953 (0.31)	1,953 (0.31)	1,575 (0.25)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	ごみ減量推進委員会（廃棄物対策推進委員会）の開催	見込	4.00	6.00	4.00	4.00
			実績	3.00	6.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,206	1,050	930	
			活動にかかるコスト (千円)	402.00	175.00	232.50	
活動2	活動名 (活動内容)	ごみ減量分別相談コーナーの実施	見込	47.00	45.00	43.00	45.00
			実績	47.00	45.00	43.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	620	600	594	
			活動にかかるコスト (千円)	13.19	13.33	13.81	
活動3	活動名 (活動内容)	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発	見込	73.00	97.00	115.00	118.00
			実績	90.00	118.00	115.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	894	1,071	978	
			活動にかかるコスト (千円)	9.93	9.08	8.50	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	市民活動支援プログラムによる活動(回)			目標	40.00	45.00	74.00	75.00
				実績	41.00	67.00	50.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
成果2	住民説明会等参加人数(人)			目標	3,880.00	2,500.00	2,200.00	2,808.00
				実績	2,383.00	1,959.00	2,571.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	委員会の委員が、ごみ減量に対し所属する団体内や団体を通し住民やその他団体に働きかけによる町内会組織を中心とした市民団体「ごみ30%減らし隊」による啓発活動を支援し街頭キャンペーン、説明会、町内会単位の啓発活動など91回実施された。また、キャッチフレーズのぼり旗を市有施設や町内会施設などに設置すると共に、啓発用ビデオを各所で流すことで広く減量を意識してもらえようようにしました。 行政からの啓発だけでなく市民同士の啓発もありごみ減量に対する意識が高まっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動①は、一般廃棄物処理基本計画の策定があったH24年度より委員会の開催数は少なく委員報酬は減ったが、ごみの減量が進まない中での委員会運営に要した職員人件費は変動は無くコストは増加しました。活動③は、H24年度は啓発用のビデオ作成等の費用がありコスト高となっています。 事業費については、継続的に使用するものに対する支出もありコストだけを暦年比較することよりも、将来ごみ減量を果たしたときの経費節減のための投資的経費と捉えるべきと考えます。
成果	ごみ減量に真剣に取り組んでいる市民には、30%の減量は非常に高い目標となっている。また、市民の環境保全に対する意識の高い人と低い人の2極化が顕著となってきている。行政からの啓発を顔を見てのPR活動を積極的に取り入れ実施しているが、期待する効果は上がっていません。説明会の参加者も意識の低い人の参加が少ないなか、市民団体による啓発活動は意識改革のきっかけとなりましたが、市民団体の解散による影響も懸念されます。自主的な市民活動との協働により意識の低い人への啓発活動の継続が課題です。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
ごみ減量及び分別に対し積極的に取り組んでいない市民に対し、ごみ減量の必要性とごみ処理の現状を広く周知し、行政からだけでなく市民目線での対策を市民活動との協働による施策を委員会等を含め協議検討し市民行動を促す施策を導き出し実施すること。また、減量や分別に取り組む市民の継続的な取り組みを維持するための取り組み及び支援についても実施することが必要である。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	ごみ減量推進委員会、市民の自発的な活動団体を牽引役として市民から市民への啓発を進展させたい。

事務事業調書

平成26年度

事業No	453	課	ごみ減量推進室	係	ごみ減量係	起案者	小島政道
						決裁者	沓名勉
事務事業名	ごみ減量教育事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 1 協働による環境づくり 2 環境教育・学習			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		20-10-5	
				総合計画以外の計画		環境基本計画	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	有	H17.9環境に関する意識の向上を推進できる機会を増やしていきたい					
陳情・市民要望	無						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業				
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	啓発を受けた子供たちが			~になる	ごみ減量を始めた環境保全に対して関心を持つようになる。	
事務事業の内容	市内全小学校の4年生を対象に、施設見学とビデオによるごみ減量等の環境教育を実施するクリーンパス事業と、環境戦隊サルビアンによる環境保全啓発活動を通し、ごみ減量と循環型社会形成普及を図る環境保全啓発活動を実施します。						
改善・対策の履歴	H25年度：クリーンパス及び施設見学時の説明用ビデオを大人向けと子ども向けに分けて作製したものの使用と副読本の内容を見直したことにより、効果的な学習ができた。 幼稚園、保育園を対象とした環境戦隊サルビアンの公演内容は、演者を増やし内容を充実した。また、公演実施期間を延長し開催しやすくした。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,432	8,208	4,605	4,173	4,232
財源計	2,589	4,932	1,266	834	1,271
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	2,589	4,932	1,266	834
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,843 (0.61)	3,276 (0.52)	3,339 (0.53)	3,339 (0.53)	2,961 (0.47)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	環境戦隊サルビアン ショーの実施	見込	22.00	18.00	18.00	23.00
			実績	15.00	19.00	19.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	3,822	3,658	2,163	
			活動にかかるコスト(千円)	254.80	192.53	113.84	
活動2	活動名 (活動内容)	クリーンバスの実施	見込	21.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	参加学校数(校)	活動の総事業費(千円)	2,358	3,323	1,884	
			活動にかかるコスト(千円)	112.29	158.24	89.71	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	クリーンバスの参加人数(人)			目標	2,054.00	2,000.00	2,000.00	1,800.00
				実績	2,054.00	2,003.00	2,010.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	環境戦隊サルビアンショー視聴人数(人)			目標	4,000.00	4,000.00	4,200.00	5,000.00
				実績	3,500.00	4,339.00	4,433.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>環境戦隊サルビアンによる啓発活動は、児童及び幼児への環境教育の増進のみではなく間接的にその親への啓発となっています。</p> <p>クリーンバス時の説明者に環境アドバイザーの起用を継続したことで、環境アドバイザーのスキルアップと意識の向上が図られました。</p> <p>説明ビデオの作成及び副読本の見直しは効果的であった。さらに詳細に学習するため学校での授業でごみについての実施した学校もありました。(講師として職員を派遣)</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>平成24年度は、活動①では、環境戦隊サルビアンのマスクの作成、衣装の修繕及び新シナリオの音源作成に費用を要し、活動②では、クリーンバス事業は学習ビデオの作成に費用を要したためコストが高くなっています。サルビアンの保育園での公演は、他課の職員の応援により実施しているため活動コストに反映していません。</p>
成果	<p>保育園・幼稚園でのサルビアン公演では園児のみではなく父母の参加を条件として、開催期間を延長し各園と調整し、日程及び開催時間等の調整ができず16園での開催となりましたが子どもと意識を共有することで啓発効果は高い。</p> <p>クリーンバスについては、学校行事として実施をお願いしているため、参加者数は在籍生徒数で変動となるため、過去の実績と比較することはできません。しかし、年数を重ねたことで、説明する環境アドバイザーのスキルもアップしより効果的な環境教育となっています。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>環境戦隊サルビアンについては、子どもに人気があり啓発効果が高いので公演だけでなく様々な啓発活動に活用できるよう検討すると共に、演者を増やした新シナリオの周知するとともに親子と一緒に参加できる回数を増やすよう実施方法を検討します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
<p>維持・継続</p> <p>ごみ減量を通じた環境保全への啓発は、幼少期ほど関心を得やすく、将来にわたって環境負荷低減の行動につながり易いです。また、親世代への影響も強く効果は高いため、特に環境戦隊サルビアン公演は、保育園・幼稚園で積極的に開催します。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	454	課	ごみ減量推進室	係	ごみ減量係	起案者	小島政道
						決裁者	沓名勉
事務事業名	地域環境美化事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 2 環境美化 1 アダプトプログラムの充実			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		20-10-5			
				総合計画以外の計画		環境基本計画			
				関連する総合計画の施策		1-1-3-2-1, 1-1-3-2-2, 1-2-1-1-1			
				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	安城市ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	H18.3多くの市民がボランティア活動に参加されるように情報提供を図る。							
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		広く市民が			～になる		地域環境の美化のため自主的に清掃活動に参加するようになる。	
事務事業の内容	地域環境美化のため、アダプトプログラム制度の推進や地域クリーン推進員の養成を通し、環境美化活動の啓発支援を行います。								
改善・対策の履歴	H25年度：ポイ捨て防止の啓発のため、ポイ捨て等防止推進委員と街頭キャンペーンを受動喫煙防止キャンペーンとの合同開催を含め3回実施した。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	7,179	6,820	8,191	7,571	8,377
財源計	2,769	2,851	4,600	3,980	4,912
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	2,769	2,851	4,600	3,980
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,410 (0.70)	3,969 (0.63)	3,591 (0.57)	3,591 (0.57)	3,465 (0.55)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	ボランティア活動募集 及び啓発	見込	7.00	7.00	7.00	8.00
			実績	6.00	6.00	7.00	
	指標名 (単位)	募集及び啓発活動数(回)	活動の総事業費 (千円)	630	945	945	
			活動にかかるコスト (千円)	105.00	157.50	135.00	
活動2	活動名 (活動内容)	地域クリーン推進員の養成	見込	12.00	12.00	14.00	14.00
			実績	14.00	14.00	14.00	
	指標名 (単位)	研修会開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	3,008	1,797	1,802	
			活動にかかるコスト (千円)	214.86	128.36	128.71	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	アダプト団体数(団体)			目標	39.00	46.00	47.00	45.00
				実績	43.00	45.00	46.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	48.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2	ボランティア活動数(回)			目標	1,266.00	1,200.00	1,200.00	1,258.00
				実績	1,120.00	1,158.00	1,141.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>アダプトプログラム団体の活動や地域クリーン推進員の養成により環境美化活動の普遍化が図られている。また、事業所や市民団体などによる不定期な美化活動や散歩中にポイ捨てごみを拾う人が増えていたり、活動報告がないが環境美化意識が高まっています。</p> <p>定期的に清掃活動が実施されている場所に限ればポイ捨てが減ってきており、以前と比べてきれいになってきています。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動募集等の事務は定型的なものであり、参加（登録）団体の増加によりコストは下がります。ただし、登録団体が増加することで支援物品に要する費用は増加します。
成果	<p>アダプトプログラム団体数は増えており、啓発活動及びごみ減量施策により参加者の意識の高まりも見える。しかし、団体によっては、参加者の高齢化が進み活動の継続が困難になる団体も出てきています。</p> <p>アダプト以外の団体や事業者においても、美化活動を実施する団体が増加しているが活動報告書の提出がない活動も多いです。ポイ捨て等は少なくなっている反面、犬ふん等の放置が目立つようになってきています。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
<p>参加団体を増やすためのPR方法として、団体の活動内容やPRポイントを写真なども活用し広く知らせることにより、現行団体の継続的活動及び活動の拡大を図るよう支援します。</p> <p>不定期な活動に対しても継続的な活動が行われるよう支援します。</p> <p>市民と共に取り組むことができる犬ふん等の放置に対する啓発や対策を検討します。</p>	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	住民や事業者が環境の改善に自ら関わることで、地域の愛着を深められるように、主体的な環境美化活動を支援することで定着化及び拡大を図っていきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	455	課	ごみ減量推進室	係	ごみ減量係	起案者	小島政道
						決裁者	沓名勉
事務事業名	ごみ減量化推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 2 資源循環 1 ごみ 1 減量化				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		20-10-5			
					総合計画以外の計画		安城市一般廃棄物処理基本計画			
					関連する総合計画の施策		1-2-1-1-1			
					性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成05年度		経過	21年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		広く市民が			~になる		ごみ減量に取組みごみ排出量が削減される。		
事務事業の内容	ごみ排出量の削減を目的に、ごみの発生抑制や分別の啓発を行うとともに、生ごみ処理機器の購入費用を補助しごみ減量を図ります。 家庭用の指定・推奨ごみ袋の作成をして、指定卸店へ販売しています。									
改善・対策の履歴	資源ごみを一括して搬入できる総合リサイクルステーションの新設と、市民団体「ごみ30%減らし隊」への支援を実施し分別に対する仕組みの強化と啓発を実施しました。 刈草を地域でたい肥化し活用する取り組みに対し、機器等の補助制度をつくり燃やせるごみの削減を図る取り組みを実施しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	80,801	75,677	95,139	95,062	126,666
財源計	74,312	69,062	88,524	88,447	118,602
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	1,254	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	64,103	57,331	70,416	80,735
	一般財源	8,955	11,731	18,108	7,712
受益者負担金	64,096	57,154	70,252	80,593	95,092
職員人件費 (従事職員数)	6,489 (1.03)	6,615 (1.05)	6,615 (1.05)	6,615 (1.05)	8,064 (1.28)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	広報等による減量啓発	見込	4.00	13.00	13.00	14.00
			実績	13.00	13.00	14.00	
	指標名 (単位)	掲載数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,915	1,781	1,781	
			活動にかかるコスト (千円)	224.23	137.00	127.21	
活動2	活動名 (活動内容)	住民説明会等によるごみ減量啓発	見込	73.00	97.00	115.00	118.00
			実績	90.00	118.00	115.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,016	1,531	1,633	
			活動にかかるコスト (千円)	11.29	12.97	14.20	
活動3	活動名 (活動内容)	生ごみ減量講習(市主催)	見込	8.00	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	774	818	716	
			活動にかかるコスト (千円)	96.75	102.25	89.50	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	生ごみ処理機器の購入補助件数(基)			目標	950.00	470.00	360.00	326.00
				実績	294.00	311.00	272.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2	市民一人一日当たりのごみ排出量(g)			目標	677.00	655.00	633.00	611.00
				実績	690.00	698.00	700.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	611.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>各種啓発活動で、ごみ減量や分別に対する意識は向上してきている市民は多くなってきているが、ごみ減量に関心がない市民も多く家庭系のごみの排出量が増加しています。</p> <p>事業系のごみの排出量も微増ではあるが増加傾向にあります。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>啓発活動にウェイトを置いて実施したため事務量は増加したが、実施回数が増えれば単価コストは下がります。</p> <p>啓発に関する単価コストの大幅な増加はないが、成果としてごみ減量が進まないことを考慮すると、啓発方法等の検討が必要です。</p>
成果	<p>生ごみ処理機購入補助に関しては、新規のバイオ式の処理機が販売され購入者が増加したが従来の処理機器の購入は減少しています。生ごみ処理に関心のある世帯に処理機器が行き渡った感があるが、燃やせるごみの重量の約半数を占める生ごみの減量は重要であるので、ごみ減量に対し無関心層の市民の取り込みが課題となっています。</p> <p>ごみ全体の増加と共に資源ごみの収集量の減少も見られ分別が不十分であることが原因の一つであると思われます。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>生ごみ処理に関して地域特性を生かした処理方法の提案などを実施し、生ごみ処理に取り組む市民を支援し利用拡大を図ります。</p> <p>市民活動団体との協働によりごみの分別の徹底などごみ減量が広く市民に浸透する方策を検討し実施します。</p> <p>事業系のごみについて、産業廃棄物の混入や資源となる古紙の混入を減らすため、搬入物検査の強化をH26年度に実施します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>ごみの排出量削減のためには、市民の減量に対する意識の向上と取組みが重要であるため、啓発活動及び機器購入の助成を継続的に実施する必要があります。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	456	課	ごみ減量推進室	係	ごみ減量係	起案者	小島政道
						決裁者	沓名勉
事務事業名	資源リサイクル事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 2 資源循環 1 ごみ 2 資源化 4 リサイクルの推進			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		20-10-5		
				総合計画以外の計画		環境基本計画		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	H17. 12曜日を限定して移動型ステーションを設置						
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業, 行政関連団体					
実施期間	開始	平成14年度	経過	12年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	広く市民が			~になる	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになる。		
事務事業の内容	ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置と集団資源回収等に対する報償金事業を実施します。 ごみの再資源化と減量の啓発活動として、粗大ごみの家具等の再生及び販売を実施します。							
改善・対策の履歴	H25年度1月に総合リサイクルステーション(エコらんど)を新規開設し、資源ごみの一括回収ができるようにしました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	92,011	89,911	93,233	114,590	100,155
財源計	87,664	85,753	88,886	110,243	96,186
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	31,783	29,212	29,500	28,700
	一般財源	55,881	56,541	59,386	86,360
受益者負担金	1,276	1,890	1,500	2,131	1,700
職員人件費 (従事職員数)	4,347 (0.69)	4,158 (0.66)	4,347 (0.69)	4,347 (0.69)	3,969 (0.63)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	リサイクルステーションの管理（資源回収）	見込	5.00	5.00	5.00	6.00
			実績	5.00	5.00	6.00	
	指標名 (単位)	管理数(ヶ所)	活動の総事業費 (千円)	20,812	19,024	45,030	
			活動にかかるコスト (千円)	4,162.40	3,804.80	7,505.00	
活動2	活動名 (活動内容)	リサイクルフェアの開催（再生家具販売の開催）	見込	12.00	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	12.00	12.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,236	2,233	2,345	
			活動にかかるコスト (千円)	186.33	186.08	195.42	
活動3	活動名 (活動内容)	住民説明会等によるリサイクル啓発	見込	73.00	97.00	115.00	118.00
			実績	90.00	118.00	115.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	902	1,071	978	
			活動にかかるコスト (千円)	10.02	9.08	8.50	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	リサイクルステーションの回収量(t)			目標	3,600.00	3,800.00	3,557.00	3,836.00
				実績	3,605.00	3,470.00	3,395.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	5,867.00	達成状況	達成	未達成	未達成
	資源ごみ回収量（リサイクルステーションを除く）(t)			目標	10,140.00	12,400.00	12,221.00	12,356.00
成果2				実績	11,533.00	11,776.00	11,375.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>再生家具の販売も利用が多く市民から家具等をごみとして捨てるのではなく、必要な人に利用してもらう仕組みづくりの要望等もあり市民の意識の向上が伺えます。</p> <p>総合リサイクルステーションの開設により、資源ごみへの意識の高まりも見えてきています。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>H25年度は総合リサイクルステーションの新設による工事費が含まれており単位コストは上がったが、総合リサイクルステーションの利便性が徐々に広まり分別の意識が向上してきています。また、事業系の古紙の回収も実施したことで、事業系ごみの減少も期待できます。</p>
成果	<p>資源ごみステーション、リサイクルステーション、集団資源回収での収集は減少気味であるが、民間ステーションは増えており利用は増加傾向にあると思われます。しかし、総数では減少傾向であり資源ごみの分別に対する市民の意識が低下してきている部分もあると思われます。可燃ごみの市民一人当たりの排出量の増加していることから、資源ごみの分別に対する市民の取り組みの推進のため分別方法及び排出方法の周知が重要であります。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>市民が排出するごみの量が削減されることによる回収量の増減の動向に留意し、取組み方法について費用対効果を考慮し検討します。</p> <p>リサイクルステーションの施設の拡張等、利用促進を図ることを費用対効果を考慮し検討します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>可燃ごみの排出量削減には、再生資源の分別が重要である。分別を定着化するためには再生資源の回収場所の整備は欠かせないものであるため、リサイクルステーション及び集団回収等の複数の仕組みを継続させることが必要であります。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	429	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	沓名五輪夫
						決裁者	横山真澄
事務事業名	合併浄化槽普及事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 2 浄化槽 2 高度処理型浄化槽の普及				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		20-10-5			
					総合計画以外の計画		生活排水処理基本計画			
					関連する総合計画の施策		1-1-3-1-1, 1-3-2-2-2, 1-3-2-2-3, 1-3-2			
					性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	有	H17.3:高度処理型合併処理浄化槽の補助を重点的に行って、公共用水域の浄化を図ります。								
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		浄化槽設置者が			~になる		高度処理型浄化槽導入により河川等の水質汚濁防止を図ります		
事務事業の内容	公共下水道認可区域（当該年度に認可が見込まれる区域を含む。）及び農業集落排水処理区域以外の地域で高度処理型合併処理浄化槽（窒素除去型及び窒素磷除去型）を設置する者に対し、補助金を交付します。									
改善・対策の履歴	平成18年度から環境によりよい高度処理型浄化槽のみを補助対象としました。 平成23年度から補助金の交付対象の項目に市税の滞納がないことを加えました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	37,410	43,160	43,680	37,890	42,855
財源計	34,890	40,640	41,160	35,370	40,335
財源の内訳	国庫支出金	11,625	13,445	11,630	13,445
	県支出金	6,137	7,863	6,371	8,067
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	17,128	19,332	17,369	18,823
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金交付事務	見込	147.00	147.00	147.00	147.00
			実績	124.00	148.00	127.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	37,347	43,097	37,827	
			活動にかかるコスト(千円)	301.19	291.20	297.85	
活動2	活動名 (活動内容)	広報あんじょう等への掲載	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	掲載数(回)	活動の総事業費(千円)	63	63	63	
			活動にかかるコスト(千円)	31.50	31.50	31.50	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	合併処理浄化槽設置基数(基)			目標	5,800.00	6,200.00	6,600.00	7,000.00
				実績	5,235.00	5,315.00	5,530.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	7,400.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	高度処理型浄化槽補助基数(基)			目標	147.00	147.00	147.00	0.00
				実績	124.00	148.00	127.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	浄化槽設置業者が浄化槽設置者に対して、補助対象となる高度処理型浄化槽を推奨するようになりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	補助件数は21件減少し、単位コストは前年度より増加しました。
成果	下水道普及率は基準年の50.1%から平成25年度75.8%と伸びており、住宅新設または改築の際に下水道接続を選択するエリアが増加しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
高度処理型浄化槽の設置推進のため、市民や浄化槽設置業者への一層のPRを図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、引き続き高度処理型浄化槽の設置者に対して補助金を交付していきます。